

令和 3 年度入学者選抜について（予告 4）

本学では、令和 3 年度入学者選抜の概要を昨年 10 月に本学ホームページにて公表しましたが、その後新たに決定した内容を加えてお知らせします。なお、今後の検討状況によっては変更する場合がありますが、その際には本学ホームページ等でお知らせします。

1. 現行入試制度と新入試制度との比較（平成 30 年 10 月公表から変更なし）

既に昨年 10 月に公表していますが、令和 3 年度入試以降、本学の選抜区分は「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」の 3 つに変更となります。

従来からの推薦入学 A・B、一般入試前期日程・後期日程については、大幅な変更をせず、推薦選抜 I・II、一般選抜前期日程・後期日程として継続することとします。

一方、AO 入試、推薦入学 C、特別推薦入学 I・II については廃止し、総合型選抜と推薦選抜 III を新設します。総合型選抜では高校で特色ある活動を行った受験生を評価し、推薦選抜 III では志望学部の指定する科目に長けた受験生を評価し、積極的に受け入れることを目的とします。

■現行入試制度

入試区分	AO 入試	大学入試センター試験を課さない		大学入試センター試験を課す	一般入試 前期日程	一般入試 後期日程
		推薦入学 A (主に専門高校対象)	推薦入学 B (推薦入学 A 以外対象)	①推薦入学 C ②特別推薦入学 I・II		
対 象	全国	県内（一部全国）	県内	①県内 ②全国	全国	全国
実施学部	システム科学技術学部 (機械工学科のみ)	システム科学技術学部 生物資源科学部	システム科学技術学部 生物資源科学部	①システム科学技術学部 生物資源科学部 ②システム科学技術学部 (機械工学科を除く)	システム科学技術学部 生物資源科学部	システム科学技術学部 生物資源科学部

■新入試制度

入試区分	総合型選抜	学校推薦型選抜			一般選抜	
	新設 総合型選抜	大学入学共通テストを課さない		大学入学共通テストを課す	前期日程	後期日程
		推薦選抜 I (主に専門高校対象)	推薦選抜 II (推薦選抜 I 以外対象)	新設 推薦選抜 III		
対 象	県内	県内（一部全国）*	県内	県内	全国	全国
実施学部	システム科学技術学部 生物資源科学部	システム科学技術学部 生物資源科学部	システム科学技術学部 生物資源科学部	システム科学技術学部 生物資源科学部	システム科学技術学部 生物資源科学部	システム科学技術学部 生物資源科学部

※ 「推薦選抜 I」アグリビジネス学科の募集人員 10 人のうち 5 人は、秋田県内を含む全国の高等学校等を卒業（修了）見込みの者から選抜します。

2. 新入試制度の募集人員について（平成 30 年 10 月公表から変更なし）

総合型選抜・学校推薦型選抜については秋田県内の高等学校を卒業（修了）見込みの者を対象とし（推薦選抜Ⅰのアグリビジネス学科の一部を除く）、一般選抜については全国の高等学校を卒業（修了）見込み又は卒業（修了）した者を対象とします。

【システム科学技術学部】

学科	入試区分		推薦選抜Ⅰ	推薦選抜Ⅱ	推薦選抜Ⅲ	一般選抜 前期日程	一般選抜 後期日程	計
	総合型選抜	推薦選抜Ⅰ						
機械工学科	3	4	4	4	7	32	10	60
知能メカトロニクス学科	3	4	4	4	7	32	10	60
情報工学科	2	3	4	4	3	20	8	40
建築環境システム学科	2	2	2	2	6	20	8	40
経営システム工学科	2	2	5	5	3	20	8	40
計	12	15	19	19	26	124	44	240

【生物資源科学部】

学科	入試区分		推薦選抜Ⅰ	推薦選抜Ⅱ	推薦選抜Ⅲ	一般選抜 前期日程	一般選抜 後期日程	計
	総合型選抜	推薦選抜Ⅰ						
応用生物科学科	2	2	4	4	4	20	8	40
生物生産科学科	2	2	4	4	4	20	8	40
生物環境科学科	2	2	3	3	2	15	6	30
アグリビジネス学科	2	10*	4	4	2	16	6	40
計	8	16	15	15	12	71	28	150

※ 「推薦選抜Ⅰ」アグリビジネス学科の募集人員 10 人のうち 5 人は、秋田県内を含む全国の高等学校等を卒業（修了）見込みの者から選抜します。

3. 入試区分の概要について

本学では、全ての入試区分において「学力の3要素」を多面的・総合的に評価します。

学力の3要素を「知識・技能」「思考力・判断力」「表現力」「主体性」「協働性」「関心・意欲」の6つの評価項目に分け、入試区分ごとに重視するものを決めて選抜に利用します。どの評価項目を重視して選抜を行うかは、それぞれの入試区分ごとに異なりますので、以下の詳細をご覧ください。選抜方法や提出書類等については、昨年度公表した内容から下記の変更点があります。

- ・システム科学技術学部 of 総合型選抜において課題論文を除外します。
- ・推薦選抜Ⅲにおいて大学入学共通テストで課す科目は以下のとおりです。

＜システム科学技術学部＞

「数学①②から1科目ずつ計2科目」及び「理科②から物理^{※1}」

※1 経営システム工学科志望者のみ理科②から物理または化学

＜生物資源科学部＞

「数学①②から1科目ずつ計2科目」、「理科②から2科目」または「理科①から2科目及び理科②から1科目」及び「英語」

新入試制度の概要

入試区分		総合型選抜		推薦選抜Ⅰ	推薦選抜Ⅱ	推薦選抜Ⅲ	一般選抜 前期日程	一般選抜 後期日程
		システム	生物資源					
入試 日程	出願時期	9/1以降		11/1以降	11/1以降	12/1以降	大学入学 共通テスト後	大学入学 共通テスト後
	試験実施	10月		11月	11月	1月	2/25	3/12
	合格発表	11/1以降		12/1以降	12/1以降	2/1以降	3月上旬	3月中旬
選抜 方法	大学入学共通 テスト	—	—	—	—	○	○	○
	個別学力検査	—	総合問題	小論文	小論文	—	○	小論文
	英語資格・ 検定試験	—	—	—	—	—	○	○
	課題論文	—	—	—	—	—	—	—
	面接	○ ^{※2}	○	○ ^{※2}	○ ^{※2}	○	—	—
	プレゼンテー ション	○	○	—	—	—	—	—
提出 書類	調査書	○	○	○ ^{※3}	○ ^{※3}	○	○	○
	推薦書	—	—	○	○	○	—	—
	活動報告書	○	—	—	—	—	—	—
	志望理由書	○	—	○	○	○	—	—

※2 面接では口頭試問を含みます。

※3 調査書記載の全体の評定平均値を原則4.3以上とします。なお、現在調査書に記載されている「評定平均値」の呼称は「学習成績の状況」に改正されます。制度変更により、各教科の評価方法が変わる場合にも現在の「評定平均値」に準じた評価を用いる予定です。

4. 「総合型選抜」について

【求める人材】

- ・システム科学技術学部では、「秋田県内の高等学校在学中に特色ある活動を主体的に行った者を対象とし、本学での修学に明確な目標を持ち、将来、各学科で学んだ分野を活かして地域に貢献する意欲のある人」。
- ・生物資源科学部では、「秋田県内の高等学校在学中に特色ある活動を主体的に行った者を対象とし、本学での修学に明確な目標を持ち、将来、農業や生物関連分野の課題の解決に取り組む意欲のある人」。

【出願資格】

- ・秋田県内の高等学校を卒業（修了）見込みの者を対象とします。

【選抜方法】

- ・システム科学技術学部では、大学入学共通テストは利用せず、「面接」「プレゼンテーション」の結果を総合して評価します。なお、口頭試問、調査書、志望理由書の評価は面接に含み、特色ある活動に関する活動報告書^{*}の評価はプレゼンテーションに含みます。
- ・生物資源科学部では、大学入学共通テストは利用せず、「総合問題」「面接」「プレゼンテーション」の結果を総合して評価します。なお、調査書、志望理由書の評価は面接に含み、特色ある活動に関する活動報告書^{*}の評価はプレゼンテーションに含みます。
※ 活動報告書については、本学指定の様式に従って記載したものを提出することとします。
- ・英語資格・検定試験については受験資格とせず、結果も利用しません。

【特色ある活動】

- ・幅広い分野で特色ある活動を主体的に行った実績をプレゼンテーション、活動報告書などで評価します。高校時代の特色ある活動の例としては、「SSH、SGH、SPH、探究活動、課題研究、ものづくりコンテスト、工業クラブ、商業クラブ、農業クラブ、科学クラブ、ロボット競技会、理数科課題探究、地域課題解決に向けた取り組み」などが挙げられます。また、そうした活動と本学のアドミッションポリシーや入学後の学習との関連性を重視して評価します。

【評価項目】

- ・面接・プレゼンテーション・調査書・活動報告書・志望理由書では「表現力、主体性、協働力、関心・意欲」などを評価します。また、口頭試問や総合問題では「知識・技能、思考力・判断力、表現力」などを評価します。

【配点】

システム科学技術学部

選抜方法	面接	プレゼンテーション	計
配点	200	300	500

生物資源科学部

選抜方法	総合問題	面接	プレゼンテーション	計
配点	100	100	200	400

5. 「推薦選抜Ⅰ」について

【求める人材】

- ・システム科学技術学部では、「本学での修学に明確な目標を持ち、将来、地域社会・産業活性化のリーダーとなり得る、コミュニケーション能力、ものづくりに対する工学的センスや行動力を持った優秀な人」。
- ・生物資源科学部では、「本学での修学に明確な目標を持ち、将来、地域の発展に貢献することを旨とする人」。

【出願資格】

- ・システム科学技術学部^{※1}では、秋田県内の高等学校の工業、情報、水産に関する学科又は総合学科（工業に関する専門科目を20単位以上修得見込み）を卒業（修了）見込みで、在学期間を通じて学業に真摯に取り組み、学業全般で優秀な成績（調査書の評定平均値 原則4.3以上）を修めた者を対象とします。
※1 経営システム工学科については、商業に関する学科又は総合学科（商業に関する専門科目を20単位以上修得見込み）を卒業見込みの者も含む。
- ・生物資源科学部^{※2}では、秋田県内^{※3}の農業、工業、水産に関する学科若しくは総合学科（農業、工業に関する専門科目のいずれか、あるいはあわせて20単位以上修得見込み）を卒業（修了）見込みで、在学期間を通じて学業に真摯に取り組み、学業全体で優秀な成績（調査書の評定平均値原則4.3以上）を修めた者を対象とします。
※2 アグリビジネス学科については、商業に関する学科若しくは総合学科（農業、商業、工業に関する専門科目のいずれか、あるいはあわせて20単位以上修得見込み）を卒業（修了）見込みの者も含む。
※3 アグリビジネス学科の募集定員の10名のうち5人は秋田県内を含む全国の高等学校で上記条件に該当する者を対象とします。

【選抜方法】

- ・大学入学共通テストは利用せず、「小論文」「面接」の結果を総合して評価します。なお、口頭試問、調査書、推薦書、志望理由書の評価は面接に含みます。
- ・英語資格・検定試験については受験資格とせず、結果も利用しません。

【評価項目】

- ・面接、調査書、推薦書、志望理由書では「主体性、協働力、関心・意欲」などを評価します。また、口頭試問や小論文では「知識・技能、思考力・判断力、表現力」などを評価します。

【配点】

システム科学技術学部

選抜方法	小論文	面接	計
配点	100	200	300

生物資源科学部

選抜方法	小論文	面接	計
配点	300	500	800

6. 「推薦選抜Ⅱ」について

【求める人材】

- ・システム科学技術学部では、「本学での修学に明確な目標を持ち、将来、地域社会・産業活性化のリーダーとなり得る、コミュニケーション能力、ことづくり（付加価値の創出）に対する科学的センスや想像力・創造力・行動力を持った優秀な人」。
- ・生物資源科学部では、「本学での修学に強い意欲を持ち、将来、地域の発展に貢献することを目指す人」。

【出願資格】

- ・システム科学技術学部では、推薦選抜Ⅰの対象者以外で秋田県内の高等学校を卒業（修了）見込みで、高校在学期間を通じて学業に真摯に取り組み、学業全般で優秀な成績（調査書の評定平均値 原則 4.3 以上）を修めた者を対象とします。
- ・生物資源科学部では、推薦選抜Ⅰの対象者以外で秋田県内の高等学校を卒業（修了）見込みで、高校在学期間を通じて学業に真摯に取り組み、学業全般で優秀な成績（調査書の評定平均値 原則 4.3 以上）を修めた者を対象とします。

【選抜方法】

- ・大学入学共通テストは利用せず、「小論文」「面接」の結果を総合して評価します。なお、口頭試問、調査書、推薦書、志望理由書の評価は面接に含みます。
- ・英語資格・検定試験については受験資格とせず、結果も利用しません。

【評価項目】

- ・面接、調査書、推薦書、志望理由書では「主体性、協働力、関心・意欲」などを評価します。また、口頭試問や小論文では「知識・技能、思考力・判断力、表現力」などを評価します。

【配点】

システム科学技術学部

選抜方法	小論文	面接	計
配点	100	200	300

生物資源科学部

選抜方法	小論文	面接	計
配点	300	500	800

7. 「推薦選抜Ⅲ」について

【求める人材】

- ・システム科学技術学部では、「秋田県内の高等学校で数学、理科の基礎学力を有し、本学での修学に強い意志を持つ人で、将来、研究者や技術者として取り組む意欲のある人」。
- ・生物資源科学部では、「秋田県内の高等学校で理科の基礎学力を有し、農業や生物関連分野の課題の科学的な解決に取り組む意欲のある人」。

【出願資格】

- ・システム科学技術学部では、秋田県内の高等学校を卒業（修了）見込みで、大学入学共通テストで本学が指定する教科・科目を受験する者を対象とします。
- ・生物資源科学部では、秋田県内の高等学校を卒業（修了）見込みで、大学入学共通テストで本学が指定する教科・科目を受験する者を対象とします。

【選抜方法】

- ・システム科学技術学部では、大学入学共通テストの「数学①②から1科目ずつ計2科目」と「理科②から物理※」の成績と「面接」の結果を総合して評価します。なお、調査書、志望理由書、推薦書の評価は面接に含みます。
※ 経営システム工学科志望者のみ理科②から物理または化学
- ・生物資源科学部では、大学入学共通テストの「数学①②から1科目ずつ計2科目」、「理科②から2科目」または「理科①から2科目及び理科②から1科目」及び「英語」の成績と「面接」の結果を総合して評価します。なお、調査書、推薦書、志望理由書の評価は面接に含みます。
- ・英語資格・検定試験については受験資格とせず、結果も利用しません。

【評価項目】

- ・面接、調査書、推薦書、志望理由書では「主体性、協働力、関心・意欲」などを評価します。また、大学入学共通テストでは「知識・技能、思考力・判断力、表現力」などを評価します。

【配点】

システム科学技術学部

選抜方法	大学入学共通テスト						面接	合計
	国語	社会	数学 2科目	理科 1科目	英語 リス含む	小計		
配点	—	—	200	100	—	300	100	400

生物資源科学部

選抜方法	大学入学共通テスト						面接	合計
	国語	社会	数学 2科目	理科 2科目	英語 リス含む	小計		
配点	—	—	200	400	200	800	200	1,000

8. 「一般選抜」について

【求める人材】

- ・システム科学技術学部の前期入試では「高等学校等教育課程で定められた基礎学力を有し、中でも科学や工学を学ぶために必要な数学、理科の学力を有する人」を、後期入試では「高等学校等教育課程で定められた基礎学力を有し、論理的な思考力・表現力に加え、問題解決に取り組む資質を有する人」。
- ・生物資源科学部の前期入試では「高等学校等教育課程で定められた基礎学力を有し、自然科学を学ぶために必要な理科、英語の学力を有する人」を、後期入試では「高等学校等教育課程で定められた基礎学力を有し、問題発見能力と論理的な思考力や記述力を有する人」。

【出願資格】

- ・大学入学共通テストで本学（学部・学科）の指定する教科・科目を受験している者。

【選抜方法】

- ・大学入学共通テストと個別学力検査の成績、英語資格・検定試験、調査書により評価します。配点は以下の表のとおりです。
- ・英語資格・検定試験については、「ケンブリッジ英語検定」「実用英語技能検定1～3級」「GTEC」「IELTS」「TEAP」「TEAP CBT」「TOEFL iBT」のうち各受験者が受験した任意の試験の成績を大学入試英語成績提供システムから成績提供を受け利用します。出願要件とはしませんので上記試験を受験していない場合でも本学の受験は可能です。
- ・英語資格・検定試験については、CEFR（外国語の学習・教授・評価のためのヨーロッパ共通参照枠）のA1からC2の各段階に換算し、そのランクに応じた点数（A1=10 A2=30 B1=40 B2=50 C1=50 C2=50）を加算します。2回分の成績を登録した場合は2回の得点のうち高得点のものを用います。
- ・調査書の評価については、大学入学共通テスト・個別学力検査及び英語資格・検定試験の配点合計の0.5%を上限として、各受験者の合計得点に加算します。

【評価項目】

- ・大学入学共通テストと個別学力検査では「知識・技能、思考力・判断力、表現力」などを評価し、調査書では主に「主体性」を評価します。

【配点】

システム科学技術学部

（前期日程）

選抜方法	大学入学共通テスト						個別学力検査			英語資格・検定試験	合計
	国語※1	社会 1科目	数学※2 2科目	理科※3 2科目	英語 リス含む	小計	数学	理科※4	小計		
配点	100	100	200	200	150	750	300	300	600	50	1,400

（後期日程）

選抜方法	大学入学共通テスト						個別学力検査		英語資格・検定試験	合計
	国語※1	社会 1科目	数学※2 2科目	理科※3 2科目	英語 リス含む	小計	小論文			
配点	100	100	200	200	150	750	300	50	1,100	

※1 国語の記述式問題の配点については、改めてお知らせいたします。

※2 数学の記述式問題の配点については、大学入学共通テストのとおりです。

※3 理科の選択科目は「理科②から物理を含む2科目」または「理科①から2科目及び理科②から物理」となります。ただし、経営システム工学科志望者のみ「理科②から2科目」または「理科①から2科目及び理科②から1科目」となります。

※4 個別学力検査の理科は「物理基礎・物理」となります。ただし、経営システム工学科志望者のみ「物理基礎・物理」と「化学基礎・化学」から1科目選択となります。

生物資源科学部

(前期日程)

選抜方法	大学入学共通テスト						個別学力検査			英語資格・ 検定試験	合計
	国語 ^{※1}	社会 1科目	数学 ^{※2} 2科目	理科 ^{※3} 2科目	英語 リス含む	小計	理科 ^{※4}	英語	小計		
配点	100	100	200	200	100	700	300	200	500	50	1,250

(後期日程)

選抜方法	大学入学共通テスト						個別学力検査	英語資格・ 検定試験	合計
	国語 ^{※1}	社会 1科目	数学 ^{※2} 2科目	理科 ^{※3} 2科目	英語 リス含む	小計	小論文		
配点	100	100	200	200	100	700	300	50	1,050

※1 国語の記述式問題の配点については、改めてお知らせいたします。

※2 数学の記述式問題の配点については、大学入学共通テストのとおりです。

※3 理科の選択科目は「理科②から2科目」または「理科①から2科目及び理科②から1科目」となります。

※4 個別学力検査の理科は「生物基礎・生物」と「化学基礎・化学」から1科目選択となります。

9. 入学生特待生制度について

入学生特待生制度は、入試制度の変更後も継続する予定です。入試制度の変更に伴い、認定基準となる科目や認定方法等の制度詳細については、現在検討中であり、決まり次第本学ホームページでお知らせします。

なお、詳細については、令和3年度学生募集要項に掲載する予定です。